2019（平成 31）年度後期
教学改善のための授業評価アンケート
報告書

大阪成蹊短期大学

調査概要

授業評価アンケート結果

調査票

調査概要

1） 調査目的

授業評価アンケートは、本学教学改革の一環として、授業改善を第一の目的として実施するものである。個々の授業に対して学生の率直な意見を聴取・理解し、学生にとって分かり易く、学習成果の得易い教育活動が行えるよう、授業の充実・改善、授業法の開発に資することを目的とする。受講者数が10名未満の授業を除き、ほぼすべての授業科目を対象としている。また、ピアノ科目にはピアノ科目用の授業アンケートを実施している。

2） 調査項目

＜一般科目＞

・回答者の基本属性（所属学科、学年、性別、学生区分）
・「授業への学生の取り組み」に関する項目（6問）
・「授業内容と授業の進め方」に関する項目（15問）
・「授業を通して得られたこと」に関する項目（8問）
・自由記述項目（1問）

＜ピアノ科目＞

・自由記述項目（1問）
・回答者の基本属性（所属学科）
・「授業への学生の取り組み」に関する項目（5問）
・「授業内容と授業の進め方」に関する項目（10問）
・「授業を通して得られたこと」に関する項目（8問）

3） 調査対象

本学の2019（R1）年度後期開講の全授業（※受講者が10名未満のクラスの場合、担当教員の任意で実施）、及びこれらの授業を履修している全学生

4） 調査方法

・各授業の終了前15分程度を使用し、出席者に対して無記名式の調査を行う。
・アンケート用紙の配付は教員が行い、回収は、教員が指名した学生2名が行う。アンケート用紙の回収確認後、教員は退室する。
・指名学生がアンケート用紙を配付。回答時間は、授業時間終了2分前までを目安とする。
・指名学生はアンケート用紙を回収後、回収用封筒に封入・封緘し、教務課に提出する。

5） 調査期間

2020（R2）年1月6日（月）～2020（R2）年1月25日（土）（※原則、14週目に実施）

6） 調査実施率と有効回答率

◆科目ベース

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当所属	生活デザイン学科	29 科目	28 科目	96.6%
	生活デザイン学科/調理・製菓学科	1 科目	1 科目	100.0%
	調理・製菓学科 調理コース/製菓コース	4 科目	4 科目	100.0%
	調理・製菓学科 調理コース	32 科目	32 科目	100.0%
	調理・製菓学科 製菓コース	18 科目	17 科目	94.4%
	調理・製菓学科 FCコース	17 科目	17 科目	100.0%
	栄養学科	58 科目	57 科目	98.3%
	幼児教育学科	297 科目	296 科目	99.7%
	観光学科	55 科目	53 科目	96.4%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	24 科目	23 科目	95.8%
	経営会計学科	41 科目	36 科目	87.8%
	共通科目	48 科目	44 科目	91.7%
	教職科目	4 科目	4 科目	100.0%
	司書・司書教諭科目	7 科目	7 科目	100.0%
2019(R1)後期 計		635 科目	619 科目	97.5%

◆学生ベース

		延べ履修者数	延べ有効回答者数	有効回答率
所属学部	生活デザイン学科		737 名	
	調理・製菓学科　調理コース		947名	
	調理・製菓学科　製菓コース		506名	
	調理・製菓学科　FCコース		261名	
	栄養学科		1,633名	
	幼児教育学科		6,869名	
	観光学科		1,464名	
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科		422名	
	経営会計学科		745名	
	(所属学部不明、その他)		165名	
2019(R1)後期 計		16,499 名	13,749 名	83.3%

7） 調査結果の活用

アンケート結果はプロジェクトチームによって分析され、教学改革会議において報告された。また、授業ごとのアンケート結果は担当の教員に戻され、各教員はその結果を受けて授業改善計画書を作成し、次期授業の中で改善計画を実践していく。

本学では、教学改革会議のプロジェクトチームが中心となり、各学部・学科、FD委員会、教務係などと連携しながら、授業評価アンケートの結果を授業改善へとつなげていく。

授業評価アンケート結果

◆経年比較

※29問中「1」または「5」の解答が28以上のケースは除いている。

※履修者数10名未満の科目は除いている。

	2018 年後期		2019 年前期		2019 年後期	
Ⅰ授業への学生の取り組み	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
１．この授業への出席状況	3.83	1.28	4.00	1.21	3.77	1.29
２．この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	3.95	1.08	3.97	1.10	3.95	1.10
３．「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした１週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	2.04	1.20	1.90	1.10	1.95	1.14
４．「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題＋その他の自主的な学習」に取り組むために費やした１週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	1.75	1.11	1.63	0.99	1.65	1.04
５．この授業の難易度（自分にとって）	3.33	0.82	3.34	0.80	3.33	0.80
６．私はこの授業のシラバスを活用した。	2.28	1.28	2.18	1.19	2.24	1.23
Ⅱ授業内容と授業の進め方						
１．全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	3.94	0.99	3.92	1.06	3.97	0.99
２．教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	3.97	0.98	3.93	1.05	3.98	0.98
３．教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	3.97	0.98	3.94	1.04	3.99	0.97
４．教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	3.97	0.94	3.93	0.99	3.99	0.92
５．教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	4.00	0.93	3.99	0.97	4.01	0.93
６．学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	3.97	0.94	3.98	0.97	4.01	0.92
７．教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.01	0.92	4.01	0.96	4.03	0.91
８．テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	3.97	0.95	3.96	1.01	4.00	0.94
9-1.　（講義・演習科目の場合）黒板やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2.　（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	3.96	0.95	3.96	1.00	4.00	0.94

10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.06	0.92	4.07	0.95	4.09	0.90
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	4.09	0.90	4.12	0.92	4.12	0.89
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	4.03	0.92	4.03	0.94	4.06	0.90
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	3.96	0.96	3.99	0.97	4.04	0.91
14. 教員はよい授業となるよう授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	3.98	0.94	3.98	0.97	4.03	0.91
15. この授業では適切な教育設備（ネット・空調・プロジェクターなど）が整っていた。			4.07	0.94	4.07	0.90
Ⅲ授業を通して得られたこと						
１．この分野の専門的知識や技能が身についた。	4.02	0.90	3.99	0.96	4.04	0.89
２．学習力や思考力が高まった。	3.97	0.91	3.93	0.97	3.98	0.91
３．知的好奇心や探究心が高まった。	3.94	0.92	3.90	0.99	3.95	0.92
４．考え方や社会的視野が広がった。	3.96	0.92	3.90	0.98	3.96	0.92
５．コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	3.89	0.95	3.85	0.99	3.92	0.94
６．シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度など）を達成できた。	3.76	1.14	3.78	0.99	3.88	0.92
７．これから生きていくうえで役立つと思う。	4.05	0.91	4.04	0.96	4.06	0.90
８．全体として、この授業を受けて満足した。	4.02	0.93	4.00	1..00	4.04	0.92

直近2期の値と比較して、各質問項目の平均値、標準偏差ともに大きな変化はなく、類似した傾向であることがうかがえる。「全体満足度」は高い水準を維持している。19年度後期において、「Ⅱ授業内容と授業の進め方」における3点台の設問は、「1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった」「2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた」「3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた」「4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた」であった。

また「Ⅲ授業を通して得られたこと」における3点台の設問は、「2. 学習力や思考力が高まった」「3. 知的好奇心や探究心が高まった」「4. 考え方や社会的視野が広がった」「5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった」「6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度など）を達成できた」であった。

しかしいずれの設問も3.88～3.98と高い水準であり、また前2期よりも高い数値を記録している。

◆条件による「授業運営」尺度、「学修達成」尺度の違い

アンケート項目のうち

Ⅱ-1からⅡ-14までの平均を「授業運営」尺度とする。

Ⅲ-1からⅢ-8までの平均を「学修達成」尺度とする。

学部（学年別）

授業運営 学修達成 ＊ 学部

		授業運営			学修達成		
所属学部		平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
生活デザイン	1	4.26	0.68	423	4.08	0.78	429
	2	3.97	0.67	290	3.96	0.72	291
	合計	4.14	0.69	713	4.03	0.76	720
調理・製菓	1	4.04	0.89	1106	4.02	0.87	1104
	2	4.36	0.72	557	4.34	0.73	558
	合計	4.14	0.85	1663	4.13	0.84	1662
栄養	1	3.83	0.98	763	3.69	0.99	769
	2	4.35	0.79	835	4.25	0.79	837
	4	5.00		1	5.00		1
	合計	4.10	0.92	1599	3.99	0.93	1607
幼児教育	1	3.91	0.91	3717	3.89	0.90	3733
	2	3.91	0.81	2392	3.90	0.79	2410
	4	4.71		1	4.50		1
	5	4.11	1.26	2	4.00	1.41	2
	合計	3.91	0.87	6112	3.89	0.86	6146
観光	1	4.31	0.70	946	4.28	0.71	960
	2	4.13	0.74	460	4.07	0.75	464
	合計	4.25	0.72	1406	4.21	0.73	1424
GC	1	4.11	0.81	279	3.94	0.90	281
	2	4.34	0.65	121	4.26	0.68	120
	合計	4.18	0.77	400	4.04	0.85	401
経営会計	1	3.79	0.83	562	3.70	0.82	566
	2	4.23	0.71	169	4.14	0.70	171
	合計	3.89	0.82	731	3.80	0.81	737
合計	1	3.99	0.89	7796	3.94	0.89	7842
	2	4.08	0.80	4824	4.05	0.79	4851
	4	4.86	0.20	2	4.75	0.35	2
	5	4.11	1.26	2	4.00	1.41	2
	合計	4.02	0.86	12624	3.98	0.85	12697

授業運営尺度と学修達成尺度はよく似た傾向にある。
「授業運営」「授業達成」ともに3点台なのは、生活デザイン学科の2年、栄養学科の1年、幼児教育学科の1-2年、経営会計の2年である。ともに4.2点を超えているのは、調理・製菓学科の2年、栄養学科の2年、観光学科の1年、GC学科の2年である。（4年・5年を除く）

授業形態

授業運営 学修達成 ＊ 授業形態

	授業運営			学修達成		
授業形態	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
講義	4.01	0.87	5720	3.95	0.87	5764
演習	3.98	0.86	5770	3.95	0.85	5799
実技・実験・実習	4.28	0.78	1425	4.22	0.79	1430
合計	4.02	0.86	12915	3.98	0.86	12993

授業規模

授業運営 学修達成 ＊ 授業規模

	授業運営			学修達成		
授業規模	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
小（11～19）	4.21	0.75	1007	4.16	0.76	1006
中（20～39）	4.02	0.86	9960	3.98	0.86	10023
大（40～79）	3.89	0.87	1705	3.86	0.88	1719
特大（80～）	4.05	0.83	151	3.97	0.82	152
合計	4.02	0.86	12915	3.98	0.86	12993

学年

授業運営 学修達成 ＊ 学年

	授業運営			学修達成		
学年	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1	3.99	0.89	7849	3.93	0.89	7895
2	4.08	0.80	4871	4.05	0.79	4898
4	4.86	0.20	2	4.75	0.35	2
5	4.11	1.26	2	4.00	1.41	2
合計	4.02	0.86	12724	3.98	0.85	12797

授業形態では、実技・実験・実習、講義、演習の順で両指標の値が高い。授業規模では、11-19名の授業において、両指標の値が大きい。学年では、2年の値が高い（4年・5年を除く）。

性別

授業運営 学修達成 ＊ 性別

性別	授業運営 平均値	授業運営 標準偏差	授業運営 度数	学修達成 平均値	学修達成 標準偏差	学修達成 度数
男性	4.12	0.85	381	4.13	0.86	384
女性	4.02	0.86	12151	3.98	0.85	12217
その他	3.65	1.03	71	3.57	1.05	72
合計	4.02	0.86	12603	3.98	0.85	12673

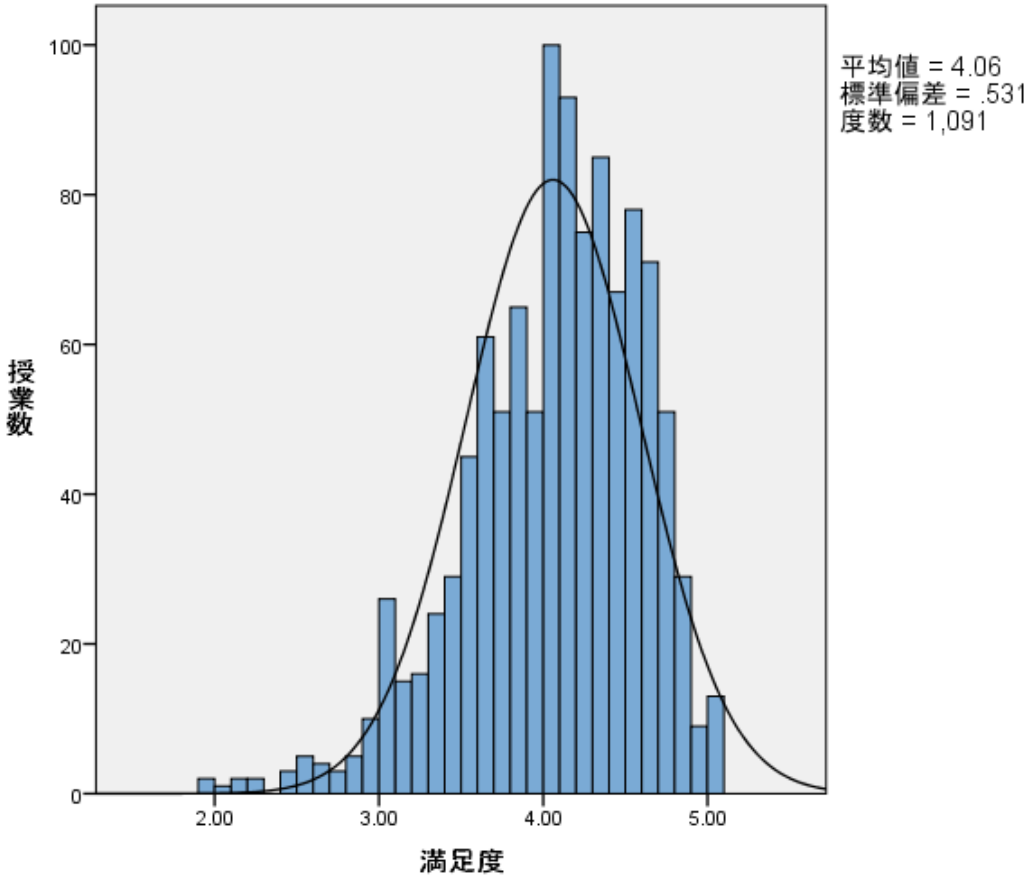
教員区分

授業運営 学修達成 ＊ 教員区分

教員区分	授業運営 平均値	授業運営 標準偏差	授業運営 度数	学修達成 平均値	学修達成 標準偏差	学修達成 度数
専任	4.05	0.84	7519	4.01	0.84	7560
非常勤	3.99	0.88	5396	3.94	0.87	5433
合計	4.02	0.86	12915	3.98	0.86	12993

学生の性別が男性の方が若干両指標ともに高く、また専任教員の方がわずかに非常勤講師よりも両指標が高い。

◆全体満足度の分布(授業平均)



満足度の分布からは、4点台にいくつかの山があるが、全体的には右寄りの高い水準であることがわかる。

◆相関分析

	Ⅰ-1	Ⅰ-2	Ⅰ-3	Ⅰ-4	Ⅰ-5	Ⅰ-6	授業運営	学修達成
Ⅰ-1　出席	1	.234	.053	.087	.002	-.017	.053	.067
Ⅰ-2　熱心さ		1	.215	.167	.013	.155	.398	.398
Ⅰ-3　学習時間（個別）			1	.599	.101	.237	.155	.160
Ⅰ-4　学習時間（全体）				1	.072	.202	.103	.098
Ⅰ-5　難易度					1	.010	-.163	-.163
Ⅰ-6　シラバス活用						1	.157	.163
授業運営							1	.887
学修達成								1

相関係数が.2以上の箇所に網掛けをした。

出席状況と授業への熱心さには弱い正の相関がみられる（*r*=.23）。さらに、授業への熱心さとその授業の学習時間に弱い正の相関がみられ（*r*=.21）授業運営、授業達成とは中程度の正の相関がみられる（*r*=.39）。

授業運営尺度と学修達成尺度の相関は強い正の相関がみられる（*r*=.88）。個別の学習時間と全体の学習時間にも中程度の正の相関がある（*r*=.59）。

教学改善のための授業評価アンケート

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

［記入上の注意］

① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

〈良い例〉 ●　〈悪い例〉 ◯ ◐ ◍ ✓

授業科目名	
教　員　名	
曜日・時限	曜　　限

大学	マネジメント学部 ①	短期大学	生活デザイン学科 ④	幼児教育学科 ⑨
	芸術学部 ②		調理・製菓学科　調理コース ⑤	観光学科 ⑩
	教育学部 ③		調理・製菓学科　製菓コース ⑥	グローバルコミュニケーション学科 ⑪
			調理・製菓学科　フードコーディネートコース ⑦	経営会計学科 ⑫
			栄養学科 ⑧	

学年	① １年生	② ２年生	③ ３年生	④ ４年生	⑤ ５年生以上
性別	① 男性	② 女性	③ その他（または答えたくない）	学生区分	① 一般学生　② 留学生

Ⅰ　授業への学生の取り組み

1. この授業への出席状況	① ４回以上欠席	② ３回欠席	③ ２回欠席
	④ １回欠席	⑤ 全回出席	
2. この授業では、話を熱心に聴き、主体的に取り組んだ。	① そう思わない	② あまりそう思わない	③ どちらともいえない
	④ ややそう思う	⑤ そう思う	
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 全くしていない（0分）	② 30分未満	③ 30分～1時間未満
	④ 1時間～2時間未満	⑤ 2時間以上	
4. 「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題＋その他の自主的な学習」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 1時間未満	② 1時間～2時間未満	③ 2時間～4時間未満
	④ 4時間～6時間未満	⑤ 6時間以上	
5. この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた	② やや簡単だった	③ 適切だった
	④ やや難しかった	⑤ 難しすぎた	
6. 私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった	② あまり活用しなかった	③ どちらともいえない
	④ 活用した	⑤ とても活用した	

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅱ　授業内容と授業の進め方

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

Ⅱ　授業内容と授業の進め方（続き）

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
8. テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
9-1.（講義・演習科目の場合）黒板やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2.（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	①	②	③	④	⑤
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	①	②	③	④	⑤
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	①	②	③	④	⑤
14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	①	②	③	④	⑤
15. この授業では適切な教育設備（ネット・空調・プロジェクターなど）が整っていた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅲ　授業を通して得られたこと

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 学習力や思考力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

Ⅳ　自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）

教学改善のための授業評価アンケート（ピアノ科目）

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

［記入上の注意］

① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

〈良い例〉 ●　〈悪い例〉 ◯ ◐ ◍ ✓

授業科目名	
教　員　名	
曜日・時限	曜　　限

大学	マネジメント学部 ①	短期大学	生活デザイン学科 ④	幼児教育学科 ⑨
	芸術学部 ②		調理・製菓学科　調理コース ⑤	観光学科 ⑩
	教育学部 ③		調理・製菓学科　製菓コース ⑥	グローバルコミュニケーション学科 ⑪
			調理・製菓学科　フードコーディネートコース ⑦	経営会計学科 ⑫
			栄養学科 ⑧	

Ⅰ　授業への学生の取り組み

1. この授業への出席状況	① ４回以上欠席	② ３回欠席	③ ２回欠席
	④ １回欠席	⑤ 全回出席	
2. この授業では、話を熱心に聴き、主体的に取り組んだ。	① そう思わない	② あまりそう思わない	③ どちらともいえない
	④ ややそう思う	⑤ そう思う	
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした１週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 全くしていない（0分）	② 30分未満	③ 30分～1時間未満
	④ 1時間～2時間未満	⑤ 2時間以上	
4. この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた	② やや簡単だった	③ 適切だった
	④ やや難しかった	⑤ 難しすぎた	
5. 私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった	② あまり活用しなかった	③ どちらともいえない
	④ 活用した	⑤ とても活用した	

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅱ　授業内容と授業の進め方

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員による実演の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

Ⅱ　授業内容と授業の進め方（続き）	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
9. 「こどもが大好きなうたの本」を用いた練習は充実していた。	①	②	③	④	⑤
10. この授業では適切な教育設備（空調など）が整っていた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅲ　授業を通して得られたこと	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う
1. ピアノ技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 楽曲の理解力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. 表現する力が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

Ⅳ　自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）